学校番号	2002B

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA 1　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を「歌う」「聴く」「演奏する」「つくること」４つの分野を年間通して学習します
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・仲間との関わりの中で、協力性、コミュニケーション、考える力を身に付け、心が豊かになることを期待しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動を通して、音楽文化について理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽表現を創意工夫するために考える力や創造する力を身に付け、音楽の良さを味わって聴く鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に学習に取り組む態度や、音楽の幅広い活動を通して協働する力を身に付け、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽曲の文化・歴史的背景や音楽の構造と曲想との関わり及びその多様性について理解している。 音楽表現を創意工夫し、自分の表現意図を音楽で表現するために必要な技能を身に付けている。	音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながらどのように表すか表現意図を持っている。 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	音の響きを感じ取ろう	【歌唱】 校歌 日本の歌 世界の歌	a:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:音楽要素を知覚・感受し、歌詞の内容と関わらせどのように歌うか表現意図を持っている。 c:曲にふさわしい発声とイメージをもって、主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察 ワークシート
		【器楽】 弦楽器にチャレンジしよう	a:楽器の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付けている。 b:音楽要素を知覚・感受し、曲の雰囲気と関わらせ、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏しようと主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察 ワークシート
後期	アンサンブルで心を合わせ発表しよう	【歌唱】 校歌 日本の歌 世界の歌 【器楽】 弦楽器 鍵盤楽器	a:自分のパートの役割を理解し、他パートの調和を考えながら演奏している。 b:それぞれのパートの良さや持ち味を生かすために、どのようにアンサンブルするかについて表現意図を持っている。 c:他者と協働して音質の統一や音量のバランスを考え、一体感のある演奏ができるように主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度